

家族川柳ピックアップ



いつまでも 手助けするよ らくしてね 小6男
ありがとう きれいな心 いつまでも 母 (R2 年度)

歩く時 つなぐパパの手 あったかい 小6女
いつまでも つないでいたい 手と心 父 (R3 年度)

少しだけ スマホみる時間 減らそうかな 中2女
その時間 違う楽しみ 増えるかな 母 (R4 年度)

羽咋市の きれいな海が 大好きだ 小4女
羽咋市は あなたのふるさと 大切に 父 (R5 年度)

おはようと 言葉一つで 笑顔なる 中1男
笑顔咲く あいさつリレー つなげよう 母 (R6 年度)

羽咋市家庭教育推進協議会からの8つのおねがい

- ① ぞくを たいせつに
- ② をつないで、ぬくもりを
- ③ いつまでも ずっと
- ④ ぼうを もって
- ⑤ うすを みまろう
- ⑥ まくほめて、こどもを のばそう
- ⑦ いしを そんちょうしよう
- ⑧ りかえして、こえかけを



羽咋市家庭教育推進協議会

検索

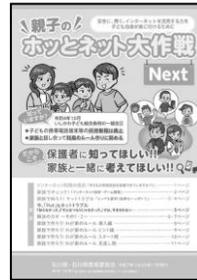
こちらから、家庭教育推進協議会の web サイトにアクセスできます



親子のホットとネット大作戦 Next

石川県・石川県教育委員会 2025 年 7 月発行

小・中学生の保護者に配付されています。高校生の保護者にはダイジェスト版が配付されています。



ご家庭での ルール作りをする際の参考に!!



ルール作り動画



「家族で作ろう!わが家のルール」

ご覧いただけましたか?
インターネットとうまくつきあう方法が載っています。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/syougai/hottonetto/hottonetto.html>

保護者に知ってほしい!!

家族と一緒に考えてほしい!!

インターネット利用の現状 「子どもの利用状況を把握できていますか!？」
家族でチェック! 「インターネット依存・ゲーム障害」
家族で知ろう! ネットトラブル 「とっても便利! 危険もいっぱい!!」
今、「Hot」なネットトラブル 「知らなかった」「そんなつもりじゃなかった」では、すまされない
解決のカギ~その1・2~



家族で作ろう! わが家のルール 導入編

//

ヒント編

//

スタート期

//

見直し期



石川県では『いしかわ子ども総合条例』が一部改正されました。(令和4年10月)

●子どもの携帯電話端末等の所持制限は廃止

●家族と話し合っって利用のルール作りに努める

あいさつ運動の推進

家庭の日の励行

家庭クリーン運動の推進

羽咋市家庭教育推進協議会

保育園児 幼稚園児

乳幼児部会

小学生

児童部会

中学生 高校生

生徒部会

保護者

家庭教育支援部会

青少年

少年育成部会

羽咋郡・市ブロック会議 兼 家庭教育講演会

in 羽咋市 《コスモアイル羽咋》 令和7年7月23日開催

羽咋市で開催された石川県青少年健全育成「羽咋郡・市ブロック会議」では、SNSを通じた表面化しにくいいじめの現状と解決策等についての講演会を行いました。(講演内容から一部抜粋)



講演会
「助けたい人を助けられる社会を目指して」
講師
スタンドバイ株式会社
代表取締役 谷山大三郎 氏



スタンドバイ株式会社 ↑
 ホームページはこちら ↑

1

■いじめとは何か

たとえ、どんな行為があっても
 相手が嫌だと思ったら「いじめ」
 です



■いじめとは

- ① 一定の人的関係において起こる
 学級、部活動、委員会などでの関わり。
- ② 心理的又は物理的影響を与える行為
 心理的影響：からかい、集団による無視。
 携帯電話等での誹謗中傷。
 物理的影響：遊ぶふりをして叩かれたりする、
 金品を隠されたりする。
- ③ 心身の苦痛を感じている
 いじめにあたるか否かの判断は、いじめられた
 児童生徒の主観による。

(いじめ防止対策推進法 第二条より)

2

■いじめはどうしていけないことなのか

■いじめが深刻化する構造



<p>加害者</p>		
・被害者のターゲットを決める ・搾取を行い被害者を打ちのめす ・加害者以外との関係性を絶つ ・誹謗中傷をし周囲を巻き込む ・味方がいないことを何度も伝える ・被害者の全面的協力を期待する		

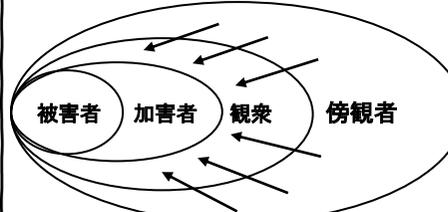
<p>被害者</p>	いつ、どこにいても 孤立無援であると感じてしまう	「反撃は一切無効だ」と 感じ、すべての行為に対し観 念してしまう	加害者と仲良しを誇示 するなど「被害者」というア イデンティティを失ってしまう
------------	-----------------------------	--	---

参考文献:「いじめのある世界に生きる君たちへ —いじめられっ子だった精神科医の贈る言葉—」
 中井久夫/中央公論新社(2016年12月10日)

3

■私たちに何ができるか

- 見方を変える
- 傍観者に目を向ける



(出典)『新訂版いじめ-教室の病(金子書房)』
 (森田洋司著・清水賢二著)
 ※矢印は谷山氏が追記

- 当事者意識を高める
 「いじりといじめの違いについて」
- 子どもたちからSOSを受け取る
 ために、まず大人の関わりから

■まとめ

- 見方を変える、共有する
- 傍観者にアプローチする
- ネットいじめ対策＝リアルへの介入
- いじめはだめだとわかっている子どもと対話する
- 子どもを変える よりも 子どもに寄り添う

“手を差し伸べられた経験”を
 “手を差し伸べる経験”へ

自分にも他人にも
 手を差し伸べ合える社会をつくる